

## 1 学期始業式（4月8日）

桜も散り始め、春深しの感が強まってきましたが、気温の変化が激しい日々が続いております。自分自身の体調管理をしっかりと行ってください。さて今日から、いよいよ令和4年度が始まります。新しい先生方を迎え、新たな邇摩高校の船出の日です。明日は入学式があり、みんなの仲間として新たに79名が加わります。

あらためて、みなさん、それぞれ新しい学年に進級おめでとうございます。

新年度スタートにあたって私から2つ話をします。1つ目は、目標を持って努力や協力をして欲しいということです。辞書を引くと「努力」とは、力を尽くして励むこと、「協力」とは、力を合わせて事にあたることとあります。力を尽くすには、成し遂げたいと思える目標が必要です。力を合わせるには、共通の目標を持つ仲間が必要です。目標がないところには努力も協力も生まれません。

私が放映中のCMのフレーズで素敵だなと思っているものがあります。それは木村拓哉さんが出演しているリポビタンDのCMです。そのフレーズは、『全力で頑張るファイトがあれば、マイペースで少しずつ進むファイトだってある。人それぞれいろんなファイトがあっていい。頑張っているかどうか他人が決めるもんじゃない。だから自分の歩幅で歩き出そうぜ。一步を一緒に。』です。

新年度は、皆さんの環境も大きく変化する時期です。周りの変化と共に新しい自分を見つけてください。新しい目標を掲げて、新しい自分を探してください。新しい自分は、未来の自分の夢にもつながります。自分にあったファイトで自分の歩幅で、皆さん全員で最初の1歩を一緒に歩き出してもらいたいです。そして少しずつ成果に繋げていって欲しいと願っています。

2つ目は『凡事徹底、日々新生』ということです。『凡事徹底』とは、特別なことではなく、ごく平凡なことを徹底してやり抜くという意味です。つまり、物事を成し遂げるには、当たり前前を当たり前前にできるか、徹底してできるかにかかっているということです。そして『日々新生』とは、当たり前前の中にも新たな価値を見いだす視点を持つという気持ちを表しています。

イチロー選手の名言の中に「小さいことを積み重ねることが、とんでもない所にいくただ一つの道」というのがあります。イチロー選手は高校3年間毎日素振りを続けたそうです。その結果、大リーグという夢の舞台で私たちに多くの感動を与えてくれました。続けることで極めた境地と言えます。「誰にでもできることを誰にもできないほど続ける」そんな姿勢が望まれます。

私が皆さんに『凡事徹底』を心がけていただきたいことは、『時を守り、場を清め、礼を正す』ということです。この言葉は、廊下にも張り出されていまして目にした人も多いと思います。

『時を守り』：これは「遅刻をしない、期日を守る」ということです。定刻までには準備を整え、きたるべき時に備えて心を静めて開始を待つということです。また、決められた期日までに求められた対応を行うということでもあります。時を守る先には、必ず相手があります。自らが時を守ることで、相手を尊重することとなります。

『場を清め』：これは「整理整頓をし、掃除をほどこす」ということです。掃除をすることは「5K」として語られることがあります。5Kとは、「①気づく人になれる、②心を磨く、③謙虚になれる、④感動する心、⑤感謝の心が芽生える」です。つまり、単に身の回りの整理整頓や掃除であっても、他を敬い、奉仕の心につながると考えます。

『礼を正す』：これは「挨拶をする、返事をする」ということです。「挨拶」をすることで人間関係は良好に保たれます。そしてその「挨拶」は率先して他人よりも先に行うことが求められます。相手に聞こえるような大きな声で、さらには相手が気持ちよく受け取ってくれる挨拶こそが、その相手に対する礼節につながります。また、呼ばれたら「はい」と答え、お世話になったのなら「ありがとうございます」と返事をするのもまた重要です。

この3つの言葉に、通じるものは、相手を思いやる、相手を敬う気持ちです。人は一人で生きていけません。誰もが誰かに支えられ、誰もが誰かを支えています。だからこそ、3つの言葉を「感謝」の気持ちをもって具現することが大切となります。

『凡事徹底、日々新生』には、皆さんが日頃を大切に、当たり前前を徹底的に行うことの重要性を知り、時間厳守、挨拶、掃除、身の回りの整理整頓など凡事を一つ一つ徹底しようと日々努力することで、毎日落ち着いて勉強に励むと共に、学校内には元気な挨拶の声が響き渡り、校舎内もきれいになっていく。そしてさらに当たり前前の中にも新たな価値を見いだせるようになってもらいたいという願いがこもっています。